レッスン：PYR N0.11

テーマ：星とピラミッド

PYR N0.11 KE03/JU16

私の姉妹・兄弟たち、

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性のなかに抱かれています。

　過去のレッスンでは私達が述べたそれらのシンボル全ては法則である、それらは創造界の中の法則を意味すると言いました。それら全ての法則は創造の元型、創造のセル、つまり生命の木のなかに見いだすことができます。

　それら全てがこの元型のなかで見いだされるのでしょうか？実際、この創造の元型のなかでもアプローチ不可能なものが一つあります。それは「Widest Heavens」｛最も広大なヘブン）を示す法則です。それは「生命の木」のなかでも見いだす、またはアプローチすることができません。そして、それは八芒星です。

　さて、現在のパーソナリティーとして人間は2つの五芒星を扱うと述べました。一つは人間の元型、イデア・フォームを意味し、もう一つは五感（真の感覚、あるいはその影としての感覚）を意味します。

　最初のものはそこにおける人間のヒポスタシス（＊状態）を含みます；それは大きな五芒星であり、それは今でもあなた方が守護の手段として使用しているものです。しかし、

同時にこの大きな五芒星は守護の他に、現在のパーソナリティーを不定形の諸体の再形成へと引き寄せるのです。

　小さな五芒星は太陽神軽叢のセンターに根ざし、五感を意味します。ですから小さな五芒星は全ての転生を通じて同じというわけではありません。しかし大きな五芒星はずっと同じですが、

**そのパーソナリティーに関して同じだけでなく、創造界における全ての人間にとって同じです。**

実際、それはまったく同一であり、違いはありません。なぜなら元型としてもイデア・フォームは天上人によって創造界におけるすべての人間に与えられているからです。それは天上人の体であり；また創造界の中での現れとしてのLifeそれ自体の体でもあります。そして私たちがLifeと言う時、それはその本質を完全に現わしているLifeを意味します。ですから2つの五芒星があります。

　さて、現在のパーソナリティーのための他の2つの同じようなシンボルがあります。そしてこのシンボルはいわゆる14芒星です。大きな14芒星はそのなかに五芒星を含み、それは勿論人間のヒポスタシス、人間つまり現在のパーソナリティーのヒポスタシス（＊状態）です。

　ですから大きな14芒星には人間の、現在のパーソナリティーのヒポスタシスが含まれ、現在のパーソナリティーは勿論五芒星のなかにあります。そしてこれは実存の諸世界にいる現在のパーソナリティーとしての人間の現れに、最初の転生の時から提供されています。そしてそれは現在のパーソナリティーが自己実現に到達するまで同じです。現在のパーソナリティーが、それぞれの（転生における）現在のパーソナリティーとして、現在のパーソナリティーの自己実現に到達するまで通過する様々なステーションを示しています。そして勿論もう一つのもの、小さな14芒星もあり、それは太陽神経叢にあります。

　ですから

**太陽神経叢には小さな五芒星と小さな14芒星があります。**

Page2

　さて前のレッスンで述べたもう一つのシンボルは六芒星です。**この六芒星は現在のパーソナリティーが超意識的意識のセルフエピグノシスを現わし始める時、つまり4番目のサイクルが終わる時、現在のパーソナリティーが使用するようになります。**

　星としてのこれらのシンボルは二次元です。しかし、現在のパーソナリティーがそれにアプローチすることによって気づきの上昇のための助けを得るためには、それらは3次元の状態を得る必要があります。そのために様々なタイプのピラミッドがあるのです。

　3面および5面ピラミッドがあります。しかし、六芒星に関しては；そのためのピラミッドも築くのでしょうか？イエス、そして実際にはノーです。なぜなら、この法則について、現在のパーソナリティーはLifeそれ自体から多くを現わすことになり、2次元におけるこのリアリティーにアプローチする能力を得るようになります。しかし、もしパーソナリティーがもっとそこから助けを得られ、それほど「困難」でなくなるなら、六芒星を創造することもできます。そして勿論前に述べたように、そのサイクルにおいて、唯一の助けは三面ピラミッドです。なぜなら、五面ピラミッドは前のサイクル、つまり3番目のサイクルで完成されているからです。

　さて、2次元、および3次元のシンボルに述べました。もう一つのシンボルは勿論一面ピラミッドです。円錐です。しかしパーソナリティーは助けとしてはそのピラミッドにアプローチしません。それは他のシンボルをマスターした結果なのです。

　四面ピラミッドについてはどうでしょうか？今は3次元のものについて話しています。そしてそれは4つのエレメントを意味し、同時に何であれそのパーソナリティーが求めるべきものを意味します；元型である人間のイデア・フォームの使用です。それについてはエクササイズでも聞きましたね。このフォームは四面ピラミッドのなかでパーソナリティーが面している正面の純白の輝きのなかに見いだされます。

　しかし、このピラミッドは本当に2次元から来ているのでしょうか？答えはイエスです。実際、このピラミッドのベースはいわゆるテトラクティス(tetractis)の結果です；申し訳ありませんがそれに対する英語の言葉はありません（＊tetraには４という意味がある）。それはもう一つの大きなシンボルである三角形の中に見いだすことのできる十字のシンボルからきています。そしてこのシンボルは魂のセルフエピグノシスとして創造の諸世界に入るLifeのスパークを象徴しています。ですから、このシンボルは人間のイデアの下降において見られます。

　十字について述べましたが、それとテトラクティスとの関係は何でしょうか？今、十字はなにを象徴するのでしょうか？それはバランスの諸世界におけるLifeのスパークの下降を象徴します。それが垂直の線が意味するものであり、水平な線はバランスの世界を意味します。

　さて、十字があり、垂直な線の両側には何が創造されるのでしょうか？4つの四角形です。ここに小さな四角形があり、ここにあり、そしてもう一つ、長方形、それらは実際長方形です。しかしそれらはいわゆるテトラクティスであり、それらは４をつくります。それらは何を意味するのでしょうか？Lifeのスパークはバランスの世界に入り、最終的にこの現れは4つのエレメントを使います…それによって神の黙想の仕事が達成されるように。それゆえに四角の底面があり、四面ピラミッドがあるのです。そうです、四面ピラミッドはテトラクティスの結果です…それはギリシャ語のaktinaから来ています。それは線、光線、4つの光線です。テトラとは数字の４，4つの光線です。

　しかし、十字であるこのシンボルが活性化するためには、もう一つのシンボル、Lifeそれ自体のスパークを意味するものが必要であり、それは三角形です。しかし、ここを見ればわかりますが、この「生命の木」においても全てのシンボルは円のなかにあります。円は何を意味しているのでしょうか？永遠です。ですからすべては永遠のなかにあるのです。すべてが。

　それでは、三角形のシンボルに戻りますが、それは何を意味していますか？先ほど述べたようにそれは「Lifeそれ自体」を意味します。実際、最大のシンボルは三角形です。それでは様々なピラミッドについてはどうでしょうか？ピラミッドは3次元であり、3次元の状態を得るために、三角形のなかで創造されます。

Page3

再び、三角形について述べました。そして現在のパーソナリティーは大きな三角形のなかにいます。結局、「生命の木」においても中宇宙的にはパーソナリティーはこの三角形のなかに見いだされます；しかし小宇宙的にも現在のパーソナリティーがヒポスタシス、状態を得て、存在するためには、このLifeのスパークが必要です。そしてLifeのスパークが必要という時、私の中だけでなく、私達もスパークのなかにいるのです。

　ですから、どのようなヒポスタシス（＊状態）が与えられようとも、すべては最終的には三角形の中なのです…３次元の三角形ではなく、Lifeのスパークを意味擦る2次元の三角形です。

　ですから、最初は四面ピラミッドのなかにいる現在のパーソナリティーがいて；後に四面ピラミッドのなかにいる間、そのパーソナリティーは三面及び五面の中にいるようになります。いいですか、私たちが現在のパーソナリティーと言う時には、現れである私たちは常に五芒星のなかにいると見なすべきです。たとえ私たちがそう言わなくても、あなた方はそのように見なすべきです。

**あなたが歩いている時、座っている時、横になっている時、あなたは常に五芒星のなかにいるのです**。

　ですから、三面および五面ピラミッドのなかにいて、そして勿論14芒星のなかにいる自分自身を見ます。しかし、それは今のところ脇に置いておきましょう；そして三面および五面ピラミッドのなかにいる自分を見る時、同時に14芒星のなかにいるのです。これは脇に置いておきます；3次元の他のシンボルのなかで、あなたには五芒星だけがあります。しかし今、前に述べたように、三角形のなかにいる自分自身を見ます、いつもそのような状態にいます。あなたがいつも持つこの状態、それはあなたの実存の体です。一つとしてのあなたの諸体です。

それはサイコノエティカル体であり、それは現在のパーソナリティーであるあなたの真の体です。

　あなたには五芒星と14芒星があり、そして最後に三角形があります。ですからあなたの真の状態、ヒポスタシスは現在のパーソナリティーとしてこれなのです。現在のパーソナリティーに伴うシンボルまたは法則は3次元的なものではありません。3次元であるあなたの唯一の状態は3つの体です。他のシンボルは3次元的であり、それらは助けであり、それらは様々な潜在的可能性のサイクルのなかに見いだされます。

　さて、前回のレッスンからの質問ですが、結果は何ですか、あなた方各人の答えは何ですか？質問を覚えていますか？

Q：3面ピラミッドと五面ピラミッドは一致しますか？

K：もしそれらを回転させると、それらは同じ円錐を創造するでしょうか？どうですか？実際に試してみましたか？どう思いますか？もし共通の底面があれば、三面または五面ピラミッドであろうと全ての角を回転させることによって同じ円ができます。言い換えれば、両方のピラミッドによって形成される円は同じ半径となるということで、また高さも同じです。円錐は異なりますか？答えはノーです、円錐はまったく同じです。

　その高さ、ポイントからどれだけ多くの線を円に引こうとも関係ありません。円であるその底面にどれだけ多くの角度があっても；言い換えればどれだけの面のあるピラミッドであろうとも、五面、六面、八面、あるいは十面であってもできる円錐はまったく同じです。それについて考えてみなさい。

　ですから、三面または五面ピラミッドの底面を回転させると円が形成され、その円は何を意味しているでしょうか？なぜなら底面とは実際には星だからです。ですから、それらの星は永遠のなかにある法則を意味しているのです。何であれそのパーソナリティーが獲得するものは失われることはありません。

　それでは三角形に戻ります。エクササイズと共に三角形を使います。勿論、過去に大きな三角形のなかに踏み込むエクササイズがありました。しかし、今あなた方は四面ピラミッドの中にいながら三角形の中にいる自分を見いだすのです。

**エクササイズ　PYR N0.10 エクササイズ１**

　静かに目を閉じて座り、心を騒がせるものすべてを解き放ちます…純白な自分を見ます…自分の形の境界を感じ、同時にあなたは純白の五芒星のなかで守られています…

　さて前の状態のなかにある三角形の状態を与えます…つまりあなたがその中にいる五芒星がその三角形のなかにあります。両サイドは線になっていて、それは２次元のシンボルであり、あなたの右と左にそれらの線があります。この三角形を形成しているそれらの線、ラインは内側に対して、またあなたに、そして五芒星に対して金色の光を放射しています。それは大きな三角形であり、五芒星のなかにいるあなたの状態をも含むことができます…今自分がそのような状態にいることを知っています…そして今あなたは四面ピラミッドの中にいる自分を見ます、あなたは純白のサイドに面していて、右には赤の光が、後ろにはホワイトブルーの光が、左にはウルトラバイオレットの光があり、あなたは純白のサイドに向かっています…

　それでは三面ピラミッドにヒポスタシス（状態）を与え、同時に全てのサイドが同じ色で輝いている五面ピラミッドにヒポスタシスを与えます…三面ピラミッドはホワイトピンク、ホワイトブルー、そして金色の光です…あなたの右はホワイトピンク、左はホワイトブルーです…

　さて、三角形の高さは三面及び五面ピラミッドとまったく同じであり、半径も三面および五面とまったく同じです。

　もしあなたが三角形を静止させておくと、それはあなたに伴うので、三角形は静止している必要があります、あなたはそれを少しも動かすべきではありません、そしてあなたは引き続き正面の純白のサイドに面しています…あなたは今３次元の２つのシンボル、つまり三面と五面ピラミッドを回転させ始めます…そしてそれらのシンボルの角があなたの右の方向に動いていき、徐々にあなたの前にあった角は純白と赤のサイドの角の方に移動しています…そして今赤のサイドの方に移動し、赤の前に来て、今や赤とホワイトブルーのサイドの角に到達しています…そして今、あなたの背後のホワイトブルーのサイドに面しています…そして角はゆっくりとホワイトブルーとウルトラバイオレットのサイドの角に到達していきます…そしてウルトラバイオレットの方に移動し、ウルトラバイオレットのサイドの中央に来て、今やウルトラバイオレットと純白のサイドの角に近づき…そして、純白のサイドに中央に来て、元の場所に戻りました。そして、この動きの結果として三面および五面ピラミッドの両方によって円錐が形成されました。勿論それは三角形の底面とまったく同じようであり、もし三角形を回転させると円錐ができます。実際、この円錐は何であれLifeからのあるレベルへの到達を意味しています。終わります。

Q：私は少し混乱しています。３次元から２次元へ行くことですが、私はそれはあまり重要ではないと思っていたのですが。

K：どういう意味ですか？あなたにとって２次元のシンボルを作るのと３次元のシンボルを作るのとどちらが簡単ですか？実際、２次元の方がずっと簡単です。

Q：２次元の方が簡単ですが、それも円錐を形成します。

K：３次元を形成するのは２次元だけではありません。実際、円錐はパーソナリティーが３次元のもの、つまり三面および五面を回転させることによって形成されます。しかし、この回転の結果は三角形によって与えられるのです。なぜなら、その結果は完全に三角形のラインと一致するからです。三角形は同時に全ての方向に向くことができます。それはLifeの多様性、多重性を意味します。いいですか、これらすべてのシンボルには非常に大きな意味があります。それはシンボルではありません、それは三角形、あるいは円錐です。そうではないでしょうか。それらには非常に深い意味があります。

Page5

もし三角形を回転させると、それは円錐を形成します。物質を使うこの世界（それは勿論４つのエレメントから出来ていますが）の波動のなかで、３次元の実存となるように私たちはこれらの法則であるそのようなヒポスタシスを与える必要があるのです。

　実際、２次元はこの実存の世界、つまりこれらの波動の世界のものではありません。それらは諸法則を意味しています。しかし、それらの法則は何であれ創造されるものの基盤なのです。そして物質を使う間は現在のパーソナリティーにとっても助けとして行為するのです。

Q：間違っているかもしれませんが、前に私が理解したことは、３次元は２次元のなかにあるのですよね。そうですか？

K：３次元はいわば２次元の影、シャドーのようなものです。

Q：それを実際に証明することができますか？

K：私がそれをどのようにして証明するというのですか？唯一の証明は、あなたが自分自身を２次元の五芒星のなかにいるとみなすことです。しかし、勿論そのためには視覚化の大きな能力が必要となります。五芒星の中にいながら、大きな三角形の中にいる自分を見ます、そして三面および五面ピラミッドは忘れて、三角形を回転させるのです。自動的にあなたは円錐のなかにいます。勿論、このことは特定のサイクルのなかにいる間にしばらくの間は求めるべきことですが；それがその結果として得られるものであり、それは円錐です。しかし、それが達成されるためには三面、五面、そして四面ピラミッドと共にしなければいけないワークがたくさんあります。三次元のこれらのシンボルのなかでの多くのワークです。

Q：３次元的なものは２次元的なものを動かすことによって創造される、と言えるでしょうか？三角形を回転させると三次元の円錐が形成されるように。

K：Lifeの主な特質の一つは何ですか？それは動き、波動、振動です。これがLifeです。これなしでは創造界は存在しなかったことでしょう。実存する全てのものには動きがあります；たとえ肉眼ではそれがわからなくても

Q：私はあなたが六芒星について語っていることがまったく理解できません。それは超意識のためだけのものですか？

K：前のレッスンで述べた六芒星はいわゆるキリスト意識を意味しています。それは２つの同じ三角形からできています。それは実際、いわゆる２度目の蘇りであり、人間としての私たちは、その現れのステートに到達するときに主を現わすのです。

Q：ある状況においては、ある段階で六芒星を助けるためにそれはピラミッドとなると言いましたが、それは自己実現だけのためですか？

K：違います。それは自己実現の前、４番目のサイクルの終わりの時です。自己実現に到達すると３次元のそれらのシンボルはまったく必要ありません。必要となる唯一のシンボルは（もしあなたがそのステートにとどまるのであれば）六芒星です。そうです、六芒星は自己実現した現在のパーソナリティーでさえも使用します。４番目のサイクルの完了に伴って自動的に５番目のサイクルが加えられます。

Q：十字は４つの全て等しい部分からできているべきですか？

K：十字に関してはノーです；２つは同じであるべきです…上と下は同じです。そして過去のレッスンで述べたように、実際にこの十字は、ここに描かれているものは、スピリットのスパークを意味します。それはスピリット・セルフであり、それが下にある創造界に「人間イデア」を通じてそれ自身の微細なスパークを放つのです。この十字がそこで意味しているのはそのことです…実際にはストレートな線ですが。このシンボルはエジプト人達も使用していました。

Q：新たな惑星と人間の始まりはどのようなものですか？

K：そのようなものはありません。なぜなら、前に説明したように、創造界では何であれ、そして創造界それ自体が神の黙想とLifeの動きです。それは動きです。何であれ生きているためには、そのなかに動きが必要です。

　新たな惑星上で人間は即座に環境の変化に適応し始めます。そして初めは人間を動物から区別するのは困難でしょう。人類学者または歴史学者は多くの過ちを冒しています；彼らは人間は猿から発達したものと考えていますが、実際にはそうではありません。人間は類人猿などの猿と近かったことは一度もありません。そして、このことは最近になって

７百万年前の人間の頭蓋骨が発見されたことによって証明されています。その頭蓋骨は類人猿の頭蓋骨とは似ていません。この発見は、当時も人間が生きていたことを意味します。これは私たちが長い間言ってきたことですが、人間は巨大な恐竜その他がいた時代にも生きていたのです。

　ですから、何であれ創造界にあるもの、それは人間のイデアのためであり、それによって神の黙想が達成されるためにあるのです。

Q：誰かが惑星ロゴスに任命され、惑星を初めから見守っていました。惑星がまだ気体その他の状態であった時、そして人間は火山とか氷河時代に耐えることができました。人間は当時、今とは違った形態だったのでしょうか？

K：惑星が状態を得るためには、初めは太陽系の中心である太陽からであり、そしてあらかじめ決められた数の人間が現れることになるのですが、それは勿論私達人間にはアプローチ不可能です。

　ですから、私たちの惑星では現在のパーソナリティーとしての特定の数のLifeのスパークがあります。それだけです。初めからそれ以上、それ以下でもありません。それらのスパークのいくつかは物質界にあり、いくつかはサイコノエティカル界にいます。それ故に地球上の人口は増えたり減ったりするのです。なぜなら、それらはサイコノエティカル界に移動するからです。

Q：それでは、太陽系または何であれ、人間がそこで生き始める準備ができる特定の時期があるのですか？

K：勿論です、生存し、同時に経験するための手段が提供されます。生存し、経験します。そして何であれ惑星上で人類に体験が与えられます。それゆえに当時恐竜その他が存在していても、それは人間に体験を与えるためでした。さもないとそれらは存在していなかったでしょう。

Q：恐怖以外にそれらは何を提供することができるのですか？

K：恐怖は体験です。それは生き残るためのもがきです。

Q：大きな五芒星は全ての人にとって同じ大きさですか？

K：そうです、それは同じですが、その人の身体のサイズに応じて大きさは変わります；しかし、身体の大きさには人によってそれほど大きな違いはありません。

　ピラミッドはその中に五芒星が入るように、そして五芒星は14芒星のなかにあります。そして、それは三角形の中であり、そして三角形のサイドは、三面および五面ピラミッドの回転の結果できるサイドと同じとなります。それゆえとても大きなものとなります。

EREVNA PYR11/KE03/16